

きょうとふの教育

発行：京都府教育委員会
編集：京都府教育庁管理部総務企画課
電話：075-414-5710
URL：http://www.kyoto-be.ne.jp

2020年オリンピック・パラリンピックに向けて

子どもたちに「スポーツの力」を実感させるとともに、一人一人の「スポーツごころ(=前向きで積極的な気持ち)」をはぐくみ、スポーツ文化の広がりや、共生社会の実現を目指し、府内49校の推進校で「オリンピック・パラリンピック教育」に取り組んでいます。
また、オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であるとともに、文化の祭典であるともされており、古代からスポーツと文化・芸術の融合が図られてきたことから、2020年に開催される東京大会の成功へ向け、京都ならではのスポーツと文化を融合させた先駆的な取組を全国へ発信するため、高校生が和歌や短歌を創作する「オリンピック・パラリンピック讃歌」に取り組んでいます。

オリンピック・パラリンピック讃歌

京都府高校生短歌コンクール

スポーツを「する」「観る」「支える」の観点から表現した短歌を募集し、京都府高校生短歌コンクールを実施しました。応募総数3,444首の中から選ばれた優秀作品をご紹介します。

朝七時君が歩道を走ってる なんとなく手を振れずに見ている 府立南陽高校 宮村りさ	ぬれている前髪揺らし笑ってる 君へ私はポカリを渡す 府立西舞鶴高校 張田侑花	桜花浮かぶブルを眺めてる これから始まる勝負の半年 府立鳥羽高校 西澤秀馬	足元に転がって来る白い球 返した時の黄色い空気 府立京都八幡高校 竹田亘快	スポーツの授業の後の掃除時間 みんなちがうユニホーム着て 府立鳥羽高校 上田里湖
--	--	---	---	--

※優秀作品の発表・表彰は、2月11日に『京都府のスポーツ文化を発信する～スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」公開フォーラム～』にて実施。

府立鳥羽高校 古典和歌披講



披講とは節をつけて和歌を詠みあげ披露することです。
本校では、(公財)冷泉家時雨亭文庫常務理事

であり京都府教育委員でもある冷泉貴実子氏の指導を受けて和歌を創作し、その優秀作品を「秋の歌会」や「春の歌会」で全校生徒の前で披露する取組を長年続けてきました。

今回は「オリンピック・パラリンピック讃歌」として、特別に「雪朝(ゆきのあした)」という兼題で2年生が和歌を創作しました。優秀作品は、2月11日に金剛能楽堂で開催された『京都府のスポーツ文化を発信する～スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」公開フォーラム～』において、平安装束を纏った披講研究部の生徒が詠みあげました。

井手町立井手小学校・多賀小学校・泉ヶ丘中学校

オリンピック・パラリンピック給食の日を設定し、これまでの開催国の伝統的な料理を取り入れた給食を実施しました。その国の文化についての話を聞きながら、みんなで楽しく味わうことで、世界を身近に感じることができました。



府立西舞鶴高校

1936年ベルリンオリンピック棒高跳びで同記録だった二人の選手は銀と銅のメダルを分け合い、現在でも「友情のメダル」として語り継がれています。今年度、二人の母校である西舞鶴高校と和歌山県立桐蔭高校の生徒が会い、80年前に育まれた友情を知ることにより、他者への気配り、高い目標の大切さを再認識することができました。



オリンピック・パラリンピック教育推進校での取組



宮津市立宮津中学校

リオデジャネイロパラリンピック陸上競技メダリストの山本篤選手を招き、講演会と実技講習を実施しました。また、パラリンピックの歴史や種目、障害の種別などについて、生徒会が中心となって調べてまとめたことを、朝読書の時間に全校に紹介し、パラリンピックへの関心を学校全体で高めました。



府立南山城支援学校

近隣の小・中・高校生と合同でチームを組み、パラリンピック種目であるボッチャと一緒に楽しみました。また、他の特別支援学校にも呼びかけて大会を開催したり、地域の方や保護者を対象とした体験会を実施するなど、ボッチャを通して多くの出会いが生まれました。

No Drug!

子どもたちを違法薬物から守りましょう!

京都府教育委員会では、関係部局・警察や学校薬剤師等と連携し、薬物乱用の防止・根絶に向けた取組を進めています。その一環として、保護者向けのパンフレットを作成しました。パンフレットの内容をご紹介します。

薬物乱用根絶パンフレット

「NOドラッグ 大人が守ろう違法薬物から子どもたちを」

子どもが違法薬物に手を出してしまうきっかけは、好奇心だけでなく、「自分はだれにも認めてもらえない」「淋しい」など自己肯定感の不足や不安、孤独感が背景にあると考えられます。

子どもの心は、保護者と子どもの絆からはぐくまれます。幼少時から、安心感や自己肯定感をなくし、悪い誘いを断る勇気や自分を大切にできる心、保護者が見てくれている、保護者を裏切れないという気持ちを持たせることが大切です。

このパンフレットでは、薬物乱用の現状や薬物乱用への誘い文句などについて紹介しています。違法薬物の怖さについて正しく理解し、誘われたときの断り方などについて子どもと話し合うときに、このパンフレットを御活用ください。また、子どもと話し合うことを通じて保護者がいつでも味方であることを伝え、子どもとの絆を深めていただくことを期待しています。

※詳しくは→京都府教育委員会HP (<http://www.kyoto-be.ne.jp/soumu/data/29yakubutukonzetu.pdf>) に掲載しています。



- 薬物乱用の現状
- 違法薬物の怖さ
- 違法薬物の種類
- 薬物乱用への誘い文句と断り方
- 子どもの薬物乱用が疑われるとき
- 子どもに薬物を乱用させないために
- 困ったときはここへ

地域総がかりの 子育てを推進

— 乙訓教育局 —

乙訓教育局では地元企業と連携した「京のエジソンプログラム」を実施しています。

この取組は、子どもたちの科学やものづくりに対する興味関心を高めるため、教育界と産業界とが手を組んで毎年実施しているものです。

今年度は「日本電産株式会社」、「日立マクセル株式会社」、「株式会社堀場製作所」、「株式会社村田製作所」及び「株式

会社安井空工務店」のご協力のもと、管内小・中学校への出前授業を16回実施しました。このうち株式会社村田製作所による出前授業では、自転車型ロボット「ムラタセイサク君®」開発の様子をスライドビデオで説明していただきました。また、「ムラタセイサク君®」と一輪車型ロボット「ムラタセイコちゃん®」の走行実演があり、停止しても倒れない抜群のバランス感覚を持つロボットたちに子どもたちから歓声が湧き上がっていました。

子どもたちからは、「何回失敗しても

教育局の 取組

ています。

そこで、山城教育局では、今年度、新たな取組として「児童の体力向上のための指導力を身に付けよう」をテーマに、



決してあきらめないという開発者の心、根気に感動した。」「こんな小さいロボットに大変精密な機械が内蔵されていることが分かった。」等の感想を聞くことができました。

この事業を通して乙訓地域から未来のエジソンが誕生するのが楽しみです。



小学校教員を対象とした、「若手教員教師力向上研修講座(小学校体育科)」を実施し、児童の体力向上のための授業づくり、指導方法の工夫について理解を深めるとともに、指導力の向上を図りました。

児童の運動に対する関心・意欲が高まり、体力・運動能力の更なる向上や、スポーツを楽しむ心のはぐきにつながっていくことを期待しています。

留学

府立高校「海外サテライト校」に中期留学した生徒(府立高校2年生)に感想を聞きました♪

～この長さがちょうどいい!～

府立高校「海外サテライト校」【中期留学】

オーストラリア、カナダなどで京都府と現地高校が連携した2～4ヶ月程度の留学を支援する補助制度。現地高校で受けた授業を単位認定したり、進学や卒業に影響がないよう学業への配慮をしたりするなど京都府が独自に実施する留学制度



Q 昨年8月から12月の間、カナダのケベック州立高校に留学した率直な感想をお願いします。

A 自分自身の世界が広がりました。日本とは異なる文化を実際に体験できたことが大きかったです。例えば、現地の学校の授業は、自分の意見を発表する形式がほとんどで、自分の脳を使っている!と実感しました。それに、日常生活の中でも、自分の意見をしっかりと相手に伝えることが当たり前でした。

また、自分の将来について、クラスメイトと深く語り合う機会があったことも有意義でした。積極的に会話に参加することを心がけることで、英語力はもちろんですが、自分の思いをしっかりと持ち、相手に伝えることができるようになりました。

Q 不安なことや困ったことはなかったですか。

A 留学前に説明会もありましたし不安はなかったです。ただ、カナダから送付される予定の書類が間に合わないまま入国審査を受けることになったときはドキドキしました(笑) 今回4ヶ月ほど留学しましたが、ちょうどいい期間だと感じました。しっかりと勉強していれば留年することもないので...これから勉強頑張ります! また、途中でホームシックにかかったこともありましたが、ホストファミリーの優しさに救われました。

Q この留学体験をこれからどう活かしていきたいですか。

A 語学力を含めて、自分の意見を伝える力も身に付けられましたが、日本の、そして京都の良さを改めて知ることができました。グローバル化してきている世界のなかで、日本の良さを積極的に発信できるようキャリアを積んでいきたいと考えています。

文化部の活躍

全日本マーチングコンテスト金賞受賞! 宇治市立宇治中学校吹奏楽部

「感動できる音楽を」「美しいハーモニーを」「地域に愛されるバンドを」、そして「挑戦～今の自分を超えていこう」をモットーに活動しています。77名の部員があり、合奏をするにも場所が狭く、移動するのも大変です。また他の部活動も盛んなため、学校の体育館を使用できる限られた時間を有効に使って練習に励ん

でいます。全日本マーチングコンテストに5年連続で出場。今年度の第29回大会では、「ビートルズ～Glorious World～」をテーマに6曲を披露し、2年連続4回目の金賞を受賞しました。「全日本常連校」としての自覚もしっかり持つようになってきて

います。3年生が引退した現在、活動は1・2年生のみですが、今年の夏を見据え、基礎練習からしっかり見直し、豊かなサウンドづくりに取り組んでいます。



シリーズ 人権

「性」はいろいろ ～多様な「性」のあり方について～

みなさんは自分自身の「性」について考えたことはありますか。一般的に「性」と言えば、「男性」や「女性」など生まれ持った「体の性」を思い浮かべますが、その他にも自分自身が感じている「心の性」や、恋愛感情を抱く対象となる「好きになる性」があります。実際には、同性に恋愛感情を抱いたり、「体の性」と「心の性」が一致しないなど「性」のあり方は多様で、「同性愛」や「性同一性障害」等のいわゆる「性的マイノリティ(少数者)」とされる人は、国内で行われたある調査では約7～8%の人が当てはまるとも言われています。

近年「性的マイノリティ」の認知が高まってきたとはいえ、家族にさえ打ち明けられず、自分自身のあり方について悩んだり、周囲やメディアが発する否定的な言動に傷ついている当事者は少なくありません。「絶対に知られたくない」「自分のことを分かしてほしい」など、「性的マイノリティ」の子どもたちの気持ちは様々です。学校ではそうした子どもたちが相談しやすい環境づくりや、更衣室の配慮等の支援に努めているところです。

私たち一人一人が多様性を認め合うことが、誰もが自分らしく生きていくことができる社会を築くことにつながります。まずは様々な「性」のあり方について正しく理解することが大切です。そして、実際の出会いがその理解を深めてくれるのではないのでしょうか。



平成28年度 人権擁護啓発ポスターコンクール
京都市長会長賞
長岡京市長岡第四中学校3年生
大畑 千裕 さん

被災地の子どもたちの笑顔に乗せて... 府立田辺高校鉄道研究部

近隣で行われる地域のイベントで「三二鉄道」を運行し、子どもだけでなく大人の方にも楽しんでいただいています。昨年10月1日、2日には、熊本県益城町で「三二鉄道」を運行しました。3年前にも、東日本大震災で被災した子どもたちに笑顔を届けようと福島で運行しました。好評だったと聞いていた部員が、「今度は自分たちが、熊本地震で被災した子ども



たちに笑顔を届けた」という思いを持ち、同窓会や京都田辺ロータリークラブ、また現地まで「三二鉄道」の運搬を引き受けてくれた卒業生など、多くの方々の協力により実現しました。たくさんの親子に楽しんでもらうと同時に、部員たち

は、その笑顔に元気をもらいました。併せて、被災地の現状を見た後、復興に向けた益城町の人たちの話を聞いたりして、被害の大きさに驚くとともに、そのような中でも笑顔で地震に負けずに頑張っている姿から多くのことを学びました。

教育委員の活動

■小学校スクールミーティング

昨年11月30日、伊根町立本庄小学校(全校児童19名)を訪問し、一つの教室で複数学年の授業を行う複式学級や外国語活動の授業、児童による「われら本庄・筒川魅力伝え隊」の発表を見学した後、児童や教職員、保護者、学校評議員等と意見交換しました。

英語の専科指導推進教員による外国語活動の授業では、児童一人一人が旅行社の一員になりきって「おすすめの国」や「地元の名勝」を紹介してくれました。



教育委員の意見

- 高学年が中心となって、低学年のみんなも大きな声を出して、すごい迫力で語ってくれた発表に圧倒されました。将来広い社会に飛び出していく児童たちが、物怖じせずに自信に満ちた歩みが続けてくれるようにという、地域社会や学校からの強い願いを感じました。
- 丹後の良い所を発表してくれた児童全員の活動は素晴らしかったです。今後も誇りを持って地元の文化や伝統を伝えてください。
- 英語の専科指導推進教員、学級担任、AETの息の合った授業展開は活気があり、とても新鮮でした。英語に苦手意識を持つことなく、小・中・高校できちんと英語の能力が積みあがっていくことを期待します。

■総合教育会議

昨年12月15日、府立洛北高校で総合教育会議が開催されました。

前半は、「洛北サイエンス」の授業を視察しました。知事や委員は、様々な研究課題に少人数で主体的に取り組んでいる様子を、関心を持って見学していました。生徒たちは自分の研究内容について熱心に説明し、委員からの質問にも一生懸命答えてくれました。

後半は、引きこもりや障害がある子どもたちの秀でた才能をいかに伸ばしていくかについて、現状認識や課題、制度面でのバックアップの必要性など様々な視点から意見交換しました。



京都府立図書館



文化・教育施設が建ち並ぶ岡崎地域、平安神宮の鳥居そばにあります。



蔵書は専門書を中心に120万冊！調査研究に活用できる新聞・雑誌や各種データベースも揃えています。



学校の授業に役立つ

■図書セットを学校に貸出

環境、福祉・人権、ヤングアダルトなどのテーマで貸出用のセットを用意しています。調べ学習や教材研究、選書などにご活用ください。



■来館型調べ学習・見学を受入れ

府立図書館の豊富な蔵書を使った調べ学習を受け入れています。図書館の利用方法や資料の探し方も学ぶことができます。

生涯学習に役立つ

■府内の図書館ネットワークを強化

府立図書館のホームページから、府立図書館や府内の市町村立図書館等の蔵書の一括検索が可能。「連絡協力車」で、普段お使いの図書館等まで無料で図書をお届けします。



■図書館から多様な情報を発信

バックヤードツアーや図書館活用講座のほか、豊富な講師陣による連続講座、落語会や宇宙シアターなどを開催しています。それぞれのテーマに関連した図書とともに楽しみください。

お問い合わせ 電話：075-762-4655
住所：京都市左京区岡崎成勝寺町

京都府立図書館 検索

シリーズ文化財

～丹後郷土資料館～

古文書の収集・整理をしています

展示だけじゃない、資料館の大事な仕事

「ウチに古文書があるけれど、見てくれないか」というような電話がかかることがあります。「古文書」と書いて「こもんじょ」と読みます。古文書には、村の戸数や人口、田畑の面積や石高を記した帳簿、商取引の伝票や帳簿、訴訟の記録、宗門改帳、過去帳、絵図などさまざまなものがあります。

資料館に相談があると、調査に伺い、保存すべき資料はお預かりして目録を作り、どんな資料であるのか概要をつかみます。そして、所有者の方の意向によっては、寄託や寄贈を受けます。中には埃やネズミの糞にまみれ、虫食いやカビで傷んでいるものもありますが、地道に整理を続け、その成果は、展示や刊行物で発表しています。近年では、宮津藩文政一揆で襲撃された庄屋さんの資料や宮津・由良の北前船関係の資料の整理から新たにわかった成果が展示に反映されました。こうして地域の歴史を具体的に示すことができるのですが、その第一歩は、地道な資料整理なのです。

古文書は、遺品の片付け、家の建替えなどの機会に処分されてしまうことが多いようです。庄屋を務めた家に残る公文書的な史料はもちろん、一見、「こんなもの残してもしょうがない。」と思える古文書でも、その家や地域の歴史を物語る貴重な歴史資料である場合がよくあります。古文書は、保管している家の財産であると同時に、文化財という側面も持っており、地域の歴史を再認識し、地域のまとまりを再構築するきっかけともなります。

古文書は、単なる過去の遺産ではなく、現在から未来を生きる私たちにとっても重要な資産です。古文書をお持ちの方は、ぜひ地元の資料館へご一報ください。



古文書整理の様子



宮津船問屋文書

企画展

「暮らしの道具 いまむかし」3/20 まで
府立山城郷土資料館 0774-86-5199

「京都発掘だより2016」[ふるさとミュージアムコレクション]3/31 まで
府立丹後郷土資料館 0772-27-0230

京都府高校生等修学支援事業のお知らせ

経済的理由により修学が困難な高校生等に対する修学資金の貸付をしています。

事業内容については、各高等学校等を通じてご案内します。

お問い合わせ先

京都府教育庁高校教育課 修学支援担当
電話：075-574-7518
住所：京都市伏見区桃山毛利長門西町
(京都府総合教育センター内)

ひとりで悩まないで!

いじめられる、学校に行きにくいなど、悩みや不安が一人では抱えきれないほどあふれてくることがあります。

京都府教育委員会は、そのような悩みについて一緒に解決の方向を探っていきたくて考えています。

電話教育相談

(24時間受付)

ふれあい・すこやかテレフォン

075-612-3268
または 3301
0773-43-0390

メール教育相談

◆「メール教育相談 京都」で検索してください。
◆携帯電話からも相談できます。



※携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。

来所教育相談

京都府総合教育センター(伏見区)及び北部研修所(綾部市)で、臨床心理士、精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。

巡回教育相談

乙訓(向日市)・山城(京田辺市)・南丹(南丹市)・丹後(宮津市)の各教育局、アグリセンター大宮(京丹後市)で、臨床心理士等が直接会ってお話をうかがいます。

来所・巡回教育相談のお申込みは、「ふれあい・すこやかテレフォン」にお電話ください。

ネットいじめ通報サイト

ネット上でいじめを発見したら通報してください。



体罰専用電話

075-612-5013
(毎週水曜日 11:30~18:30)